



新年のご挨拶



迎春



本年もよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人鹿児島県交通安全協会
理事長 中村博之

各地区協会长

- 伊荻壽一 (鹿児島中央 山之内悟 (霧島))
- 知識公洋 (鹿児島西 平川忠幸 (曾於))
- 米盛司郎 (鹿児島南 大野洋一 (志布志))
- 坂上次喜 (指宿 原口孝 (肝付))
- 橋口良一 (南九州 村場重穂 (鹿屋))
- 今門一矢 (枕崎 宮下又三郎 (垂水))
- 石原哲郎 (南さつま 山口一美 (錦江))
- 西山益穂 (日置 柳田博 (種子島))
- 内田則幸 (いちき串木野 寺田九州男 (屋久島))
- 外園輝蔵 (薩摩川内 竹山耕平 (奄美))
- 純浦勝志 (甑島 畠山八十二 (喜界))
- 三腰博洋 (さつま 元井直志 (瀬戸内))
- 浜健男 (阿久根 西松文良 (徳之島))
- 尾崎正門 (出水 中田隆洋 (沖永良部))
- 西秀雄 (伊佐湧水 若松寿久 (与論))
- 有村忠一 (始良)



新春のお慶びを申し上げます

公益財団法人鹿児島県交通安全
理事長 中村 博之

皆様には、平素から当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当協会では、個人会員及び法人会員の皆様からお預かりしました貴重な会費を財源に、県内各地の学校や高齢者クラブ、企業等に対して交通安全教室や講習等を行うとともに、各地区協会におきましても各種活動を積極的に実施いたしました。

また、企業の皆様から寄贈していただいた交通安全資材等は、交通安全活動や交通安全キャンペーン等の機会において有効に活用させていただきました。

さらに、広報啓発活動の一環としてパト電車(鹿児島市電)やラッピングバスを活用して飲酒運転撲滅等の広報を行うとともに、新聞やラジオ等の各種媒体を活用した活動を推進いたしました。

そして、子供たちの自転車技能向上を目的に、南さつま市におきまして、同市職員の皆様方のご協力のもと、6月に「令和7年度交通安全子ども自転車鹿児島県大会」を開催し、同大会で優勝した南さつま市立金峰学園の選手は、8月に東京都で開催された「交通安全子ども自転車全国大会」にも出場し、団体の部で17位と健闘いたしました。

さて、「第11次鹿児島県交通安全計画(令和3年度から7年度)」に基づき、一昨年に引き続き、各種交通安全活動に取り組みましたところ、昨年11月末現在ではございますが、死者数が前年同期比で減少するなど、その一翼を担うことができたのではないかと思うところでございます。

本年も、より効果的な交通安全活動の推進に努めてまいりますので、引き続き、当協会の活動にご理解いただきまますとともに、一層のご支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念しまして、年頭の挨拶といたします。



年頭の辞

鹿児島県警察本部
交通部長 岩城 孝志

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から地域の交通安全活動を始め、警察業務全般にわたり、御理解と御協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の本県における交通情勢については、発生件数、死者数、負傷者数の全てにおいて前年より減少したものの、死者数全体に占める高齢者の割合が約7割を占めたほか、次代を担う子ども達が負傷する交通事故も、依然として後を絶ちませんでした。

また、県内では昨年10月の1か月間で9人もの尊い命が交通事故で失われ、4年ぶりに交通死亡事故多発警報が発令されるなど、極めて厳しい状況にありました。

そのような中、県内では若年者による自転車利用中の負傷事故が増加傾向にあり、自転車の基本的な交通ルールの周知を図る必要があるところ、本年4月1日からは自転車に対する交通反則通告制度(青切符)も導入されることから、自転車の交通事故抑止対策をより効果的に推進していかなければなりません。

このような状況を踏まえ、県警察としましては、「自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進」を本年の運営重点のひとつに掲げ、乗車用ヘルメットの着用促進や、自転車交通ルールの広報、交通事故に起因するような悪質・危険な交通違反の指導取締りなど、自転車の安全利用を含めた総合的な交通事故抑止対策を強力に推進することとしております。

交通事故は、県民の誰もが当事者となるおそれのある身近な問題であり、安全で安心な交通社会を実現するには、地域や職場に根ざした交通安全活動を継続的に展開していくことが必要不可欠でありますので、昨年同様、皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健勝と御多幸を心より祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。